

ICTを活用したするめいか漁情報発信事業

今村豊・高坂祐樹

目 的

海洋環境の変化によるスルメイカ漁場の変化や資源の変動により、漁業者は効率的なスルメイカ操業が困難となっていることから、ICT（情報通信技術）を活用した漁場情報の収集・解析及び漁業者への迅速な情報提供システムを開発する。

材料と方法

漁場情報管理システム「いかナビ@あおもり」のデータ収集・配信フォームの開発を行った（図1,2）。また、全国各地で操業している本県漁協所属のイカ釣り漁業者にシステムを運用してもらい、不具合の確認や操作性などの意見を聞き取り、システムの改良を行った。

結果と考察

漁場情報管理システム「いかナビ@あおもり」は5月に開発、6月から試験運用を開始した。システムにより漁業者から得られた情報については、自動集計の後、迅速に漁業者に提供され、また、正常に動作していることから、効率的な操業に繋がっていると考えられる。

図1. データ収集フォーム

グリッド	箱数
153箱(1隻) 表面水温:21℃	
20入	15
25入	119
30入	14
その他	5

グリッド	箱数
116箱(1隻) 表面水温:16.6℃	
20入	39
25入	58
30入	17
その他	2

図2. データ配信フォーム